

営農技術情報【水稻】

令和2年4月24日

日高農業改良普及センター日高西部支所

JAびらとり JA門別町

- ★は種作業は平年並みに進んでいますが、4/22に出された週間予報では4/23～29は気圧の谷や寒気の影響により、曇りの日が多く、気温は平年並みからやや低く、前半は降雨が予想されています。
- ★出芽が揃うまではハウスの温度を確保し、低温が続いた場合は被覆資材（シルバーポリ）を一度めくり、育苗箱の温度を高めることも検討してください。

水田準備＜耕起・施肥・代かき＞

- 1 水稻は、他の作物に比べ、ケイ酸吸収量が多い作物です。稲体の物理的強化や食味向上のためにも、土壌改良資材としてケイ酸資材を施用しましょう。
◎目標施用量：ケイカル90kg/10a以上
- 2 窒素施肥量は「前年の稲の出来（大小）」や「ほ場の乾き状態」で増減（微調整）します。前年に倒伏が発生したほ場では減肥を検討してください。
- 3 施肥・混和してから入水・代かきまでの期間が空くと、土壌中でアンモニア態窒素が硝酸態窒素に分解され、入水の時に流亡してしまいます。
★施肥から代かきまでの間は1週間以内に行う。
- 4 代かきを強く行いすぎると、透排水性の低下と土壌還元が進むことで、根の発育に悪影響を及ぼします。代かきは練りすぎないように行いましょう。

油断大敵・・・こんな時は霜害に注意！！！！【霜害発生時の気象状態】

- 大陸からの移動性高気圧が日本付近をおおい、大陸の寒気が南下した時
- 夜間よく晴れ、しかも風が弱くなる時
- 翌朝の予想最低気温が3～4℃以下の時は注意が必要

※これからの季節、トラクタ事故が増加します！みんなで安全確認を！